



2022.8.6-11

大佐山オートキャンプ場

第18回日本スカウトジャンボリー
中国・四国ブロック岡山会場

参加者ハンドブック

日本ボーイスカウト岡山連盟
日本ボーイスカウト鳥取連盟

**18th NIPPON SCOUT JAMBOREE
ALL OVER JAPAN**

もしものとき

事故やケガ、体調不良、あるいは何かトラブルが発生したとき、あるいは目撃をした場合、下記の「緊急連絡先」に電話して、事故や問題の報告、相談をしてください。

指導者と一緒のとき

スカウトは、近くの指導者にいち早く報告してください。指導者は、下記の「緊急連絡先」に電話して、事故や問題の報告と相談をしてください。

スカウトだけのとき

スカウトが携帯電話を持っている場合は、直接下記「緊急連絡先」に電話してください。誰も持っていない場合は、班長指示により、手分けして指導者あるいは大人を探し、状況を説明して「緊急連絡先」に電話してもらおうよう頼んでください。

◆ 緊急連絡（相談）先

事故・ケガ・体調不良 **070-1876-0529** (岡谷)

トラブル・相談 **090-1687-2593** (横山)

◆ 本部・救護所

大型ロッジ

◆ 急患対応病院

渡辺病院 **0867-72-2123**

〒718-0003 岡山県新見市高尾2278-1



目次

もしものとき

1. 大会概要

第18回日本スカウトジャンボリーへようこそ	4
大会概要・日程	5
大佐山オートキャンプ場について	6
会場へのアクセス	7
会場周辺地図	8
参加隊について	9
大会ソング	10
岡山連盟のうた「たびびと」	11
鳥取連盟のうた「はばたけ世界に」	12

2. 会場施設

会場マップ	14
会場案内	15
各サイト仕様	16

3. 楽しいジャンボリーを送るために

野営管理（安全三原則）	18
キャンプ場注意事項・外出許可	18
緊急待避	19
天候・自然災害等への対策	19

4. キャンプライフ

献立表	24
食材配給	24
ごみの分別	25
トイレ・シャワー	26
安全管理	27
新型コロナウイルス対策	31

5.プログラム

【全体プログラム】

開会式	34
信仰奨励	34
ジャンボリー大集会	35
大営火・閉会式	35

【場内プログラム】

ジャンボリー日本一プログラム（わが旗かざし）	36
ジャンボリー日本一プログラム（火を絶やすな）	37
ジャンボリー日本一プログラム（ジョン・ブラン手旗リレー）	38
キャンプクラフトコンテスト	38
ベンチャー バイオニアリング章	39

【場外プログラム】

シャワートレッキング	40
カヌー体験	42
洞窟探検	43
【各隊】SDGs、千羽鶴プログラム	44

6.安全パスポート

緊急連絡先・救護所・急患対応病院	46
緊急用個人情報記入らん	47
注意事項	48
健康記録（期間前）	49
健康記録（期間中）	50
健康記録（期間後）	52
安全パスポート	53

7.友だちノート

新しいともだち	62
---------	----

1. 大会概要

Jamboree Outline



第18回日本スカウトジャンボリーへようこそ

第18回日本スカウトジャンボリー中国・四国ブロック岡山会場

18NSJ テーマ「100^{ひゃく}+f ~自分のfを探せ」

岡山会場テーマ【もう一歩】²

日本連盟創立100周年記念大会として、大会に参加したスカウトにより、これまでの100年間の歴史を振り返り、これからの100年を築き上げる契機となるよう、自ら考えるf (future, friend, family, faith, fun, face, fuji など) を探して未来に向かって行くスカウトの自主性と発信して行く姿を表す。

岡山会場ではこれに加え「もう一歩、もう一歩」と最善を尽くすことをあきらめない姿をテーマとした。

1.はじめに

新型コロナウイルス感染症からスカウトの安全を確保するため、日本全国から集まる大会ではなく、東京の中央会場と全国各地のサテライト会場で分散開催されることになった。岡山連盟では鳥取連盟と一緒に「中国・四国ブロック岡山会場」として開催する。

2.目的

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念大会として、本大会に参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤に、より多くのスカウト仲間との相互交流を通じて、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会である。

岡山会場ではこれに加え、

- ・ 地域の特色・課題を意識し地域に奉仕する
- ・ 広く県内外にボーイスカウトをPRする
- ・ 県内外のスカウトとの交流を図る大会とする。

大会概要

会場

大佐山オートキャンプ場 岡山県新見市大佐小南1番地

日程

令和4年(2022年)8月6日(土)~11日(木) 5泊6日

参加スカウト

岡山連盟+鳥取連盟のスカウト

日程表

日数	日程	午前	午後	夜間
第0日	8月5日(金)		スタッフ入場・設営	準備作業
第1日	8月6日(土)	参加者入場・設営		開会式
第2日	8月7日(日)	信仰奨励	ジャンボリー大集会	交流
第3日	8月8日(月)	プログラム	プログラム	交流
第4日	8月9日(火)	プログラム	プログラム	交流
第5日	8月10日(水)	プログラム	プログラム	大営火
第6日	8月11日(木)	閉会式	撤営・退場(11:00まで)	

基本日課

起床	6:00	午後の活動	13:30~16:30
朝食	7:00	夕食	18:00
朝礼国旗掲揚	8:00	国旗降納	18:30
午前の活動	9:00~12:00	夜間の活動	19:30~21:00
昼食・休憩	12:00~13:30	就寝準備	21:00
		消灯	22:00



会場について

名称 大佐山オートキャンプ場

場所

〒719-3507 岡山県新見市大佐小南1番地
 TEL : (0867)-98-3711 FAX : (0867)-98-3120
 営業時間 9:00 ~ 18:00 (火曜定休)
 ※グーグルマップはこちら



会場入口



会場へのアクセス

大佐 SA スマート IC 下車 20 分 (24 時間対応・大型車は利用不可)

×注意:ナビは違う経路を指示することがあります。
 ナビに従うと狭い山道になり、脱輪の恐れがありますのでご注意。



会場周辺地図



駐車場について

- 送迎・日帰り車両 「一般車両駐車場」(約30台)
- 1泊以上の車両 「301-305、311-312、323-325」(約100台)
- ゲスト・業者車両 「ゲスト用駐車場」(約10台)
- バス等大型車両の一時待機場所 「イベントホール前」(バス2台)
- 救急車両の駐車場 (クラブハウス道向い)

※本部・受付前(中央広場)を含め、キャンプサイト内への車両乗り入れは原則禁止。
 ※搬入・搬出は指定された場所で行なうこと。

■301-305、311-312、323-325は通常サイトを駐車場として使用します。



18NSJ 大会ソング

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念ソング

ボーイスカウト

～いま 高き峰へ～

作詞・作曲：弓削田健介
ことば：100周年スカウトの歌プロジェクト

<p>世界に暗闇が 忍び寄ろうとしても ともし火掲げ合い 平和の騎士が 明日を照らすよ 100年前も100年後も</p> <p>立ち上げれ Boy Scout つなげよう Blue Sky 国境は消えてゆく 僕らが共に歌うとき</p> <p>Boy Scout ちがいとおきてを コンパスにして いま 高き峰に向かえ</p>	<p>僕らの冒険は 笑顔をつむぐ旅さ 希望をつかち合い すべての命の 弥栄歌おう 世界中の仲間たちと</p> <p>そなえよつねに Boy Scout ひろげよう True Smile 未来はそう信じてる 僕らの夢がなう朝を</p> <p>Boy Scout 誇りと名誉の チーフ巻いて いま 高き峰に向かえ</p> <p>ラララ・・・ -Creating a Better World- ラララ・・・ -Creating a Better World-</p>
--	---





ボーイスカウト岡山連盟のうた「たびびと」

詞：ボーイスカウト岡山連盟スカウト & パンツゴンザレス哲朗
作曲：パンツゴンザレス哲朗 編曲：パンツゴンザレス哲朗



ボーイスカウト鳥取連盟 連盟歌「羽ばたけ世界に」

- [1 番] 朝日に映える すなやまに とどろきよせる 日本海
世界を結ぶ その道に 心を磨き 技を練り
スカウト我等 ちかいもあらた
羽ばたけ 羽ばたけ 世界に 鳥取 鳥取 鳥取連盟
- [2 番] あかねに燃える 霊峰（れいほう）の すそ野に遠く 日本海
世界を結ぶ その道に 心を磨き 技を練り
スカウト我等 おきてを守り
羽ばたけ 羽ばたけ 世界に 鳥取 鳥取 鳥取連盟
- [3 番] 歌声高く はちぶせに 山なみこえて こだまする
世界に向かう その道を ちかいおきてに 結ばれて
ひとみ明るく スカウト我等
羽ばたけ 羽ばたけ 世界に 鳥取 鳥取 鳥取連盟

明く・元気に

馬場正樹 作詞
選定委員会 補作
滝川節夫 作曲

あさひにはえる すなやまに
とどろきよせる にほんかい
せかいをむすぶ そのみちをこころをみだす
わがをねりスカウトわれらちか
いもあらたはばたけはばたけ
せかいにとっとりとっとり
とっとりれんぬい せかいにとっとり
り とっとり とっとりれんぬい

2 会場施設 Facilities



会場マップ



会場案内

サイトA (116~119, 221~228)
西大寺1・津山1

本部・救護所 (大型ロッジ)

サイトB (113~115, 151~160)
鳥取1・2・7・10・12
倉吉3、米子8・11

中央広場 開会式・閉会式
・ジャンボリー大集会

サイトC (215~220)
西大寺5

イベント広場
場内プログラム・駐車場

サイトD (109~112)
浅口1・2・3・岡山23

ファイヤー広場 大宮火

サイトE (211~214)
玉野1・総社3

配給広場 配給

サイトF (205~210)
岡山4・岡山17

トイレ
クラブハウス・サニタリー棟
・炊事棟

サイトG (101~105)
都窪2

シャワー
クラブハウス・サニタリー棟

サイトH (201~204)
倉敷14・玉島5

※**スタッフ宿泊所**
大型ロッジ2階 (女性)
トレーラーハウス (男性)



トレーラーハウス (男性スタッフ宿泊)



サニタリー棟 (トイレ・シャワー)



クラブハウス (トイレ・シャワー)



大型ロッジ (本部・救護所・女性スタッフ宿泊)

各サイト仕様

大きさ:約10m×10m

流し台、AC電源(コンセント)は1200Wまで

※溝や穴を掘ったり、土を掘り出すのは禁止。

※直火は禁止。立ちかまど等に対応。



※サイト内に車両は駐車禁止。
指定の駐車場に停めること。

3 楽しいジャンボリーを
送るために
Have Fun & Stay Safe



野営管理

参加者は、次のことに留意する。

- ・快適なキャンプ生活を基本として、スカウト精神を発揮した心に
残る体験とするため、安全管理に心がけ事故防止に努めること。
- ・自然の中での生活、プログラム、諸活動は、危険と表裏一体であ
ることを認識し、安全の三原則を厳守すること。

安全三原則

- ・自分の安全は自分で守る。
- ・ルールを守る。
- ・安全を最優先する。

- ・成人指導者及びローバースカウトは、「セーフ・フロム・ハーム」を
理解し、ガイドライン、指導者バディールール等を遵守すること。
- ・大会の基本日課を守り、快適な大会での生活を送る。

キャンプ場注意事項

- ・飲酒は厳禁。
- ・場内全面禁煙。喫煙は場外に指定した場所のみとする。
- ・直火は禁止。立ちかまど等を使用する。
- ・通路上の駐車はしない。
- ・車の走行時は歩行者に注意し、必ず徐行運転をする。
- ・テント用具等の搬入・搬出は、指定された場所で行なう。
- ・炭や灰を炊事棟やサイト裏等に捨てない。ごみ分別の指示に従う。
- ・場内の備品や設備は大切に使用する。
- ・サイト内で土等の掘り起こし、樹木の伐採はしない。
- ・持ち込んだ土、資材等は持ち帰る。
- ・携帯用発電機の持ち込みはしない。(充電式バッテリーは可)

外出許可

- ・期間中、会場から外出する時は、外出書に必要事項を記入し本部
に提出する。(場外プログラムを除く) 閉門時間…22:00

緊急退避

- ①本部長が、台風や豪雨等によって野外生活が困難であると判断
した場合は、速やかに大会長に連絡をするとともに、大会長の
決定に基づき退避命令を発令する。
- ②退避の指示を受けた参加隊は、時間の許す限りキャンプサイト
を整理し、一部の指導者が残留し事後の監視を行う。
- ③退避する参加隊は寝具、個人携行品を取りまとめ、「指示され
た避難場所」に移動する。
- ④隊長は、退避者及びその退避先を把握し、本部と連絡を密にする。

天候・自然災害等への対策

(1) 熱中症・日焼け防止

熱射病（日射病）、熱疲労、熱けいれんを総称し、熱中症という。
いずれも、高温環境下に長時間立っていたり、作業していたりす
る時に起こり、体温調節や血液の流れが阻害され、熱が発散せず、
いわゆる「うつ熱」と水分及び塩分の欠乏が原因である。

日常よく出会う日射病は、頭部又は頸部に長時間、直射日光
を受けた場合に起こる。また過度の日焼けは体力を消耗し、日
射病や熱傷を起こし、最悪の場合は入院加療が必要な場合がある。

晴天時は当然、雲りでも紫外線は強く、油断していると、すぐ
に重症になる場合がある。

隊サイトにフライやタープを張って日陰を確保し、テント内の
換気に注意するとともに、次の事項に留意する。

- ①首筋や背中を直射日光にさらさないよう、作業帽と服装に注意
する。
- ②炎天下での作業に際しては、適時、日陰での小休止、水分や塩
分の補給に配慮する。
- ③野営日課に基づき、食事と睡眠を十分にとる。

(2) 雷対策

落雷の持つ巨大なエネルギーから見れば、人間の絶縁保護作用は皆無に等しく、人への落雷は、金属類を身に着けているかいないかにかかわらず、人そのものが電流の良導体であることを理解する。また落雷は、金属、非金属にかかわらず、高く突き出ているものに落ちやすい。このことから、雷が発生した場合には次の事項に留意する。

- ①雲が接近して大粒の雨がともなうときは、雷雲がすぐ頭上にある。大粒の雨はヒョウやアラレになりそねたもので、落雷直前を意味するので、直ちに安全地帯に退避する。
- ②雷雲の進行方向とは逆方向の山陰や、稜線より低い森林地帯に退避する。屋根、水辺、広場、高い木の真下は危険。
- ③高いポールや樹木（樹木の場合は、枝先・葉先）から必ず4m以上離れる。ポールや樹木が4m以上の高さの時は、その根元から4m以内の範囲で、姿勢を低くしてしゃがむ（頂点45度の仰角で見る範囲に入る。）なお、送電線や配電線の高さの2倍幅の帯状域内も保護範囲となる。
- ④密集して歩かない、また、テント内でも密集せず、テントの支柱や屋外のポールからもなるべく離れる。
- ⑤退避中の避雷姿勢は、両足を抱え込むようにしてしゃがみ、周囲の物体よりも頭を低くする。（頭部付近の電位を低くする。）
- ⑥被害を少なくする為に、頭部や胸（心臓近く）から上には絶対に金属類をつけない。ヘアピン、バッジ、眼鏡、ネックレス、ピアス、腕時計等は外し、ズボンのポケット等に入れる。雨が降っていても傘はささない。なお、金属類を外していても少しも安全になったとは言えない。むしろ腕などに金属類をつけていることによって人体表面に沿った放電を起こしやすく、体内方面への電流の流れを変え、身体の外側方向に導く働きをする場合もある。

(3) 風雨対策

- ①風雨に備え、キャンプサイトを設営するときから地形と水路をよく確認する。
- ②テント等の張り綱は、気象の変化に対して絶えず張り具合を調整する。
- ③非常の場合に備えて個人装備品を整理し、濡れないように配慮する。
- ④台風や豪雨等によって野外での活動が困難になった場合、危険が予測される場合は、スカウトの安全を確保すると同時に本部に連絡をし、その指示に従って行動する。
- ⑤台風の接近や天候の悪化について、本部は参加者へ注意事項、プログラムの予定などについて案内を行う。

(4) 地震

地震については、予測が困難であるが、特に屋内（サイト内）で地震が発生した際には、火気を使用している場合は直ちに消火し、頭を抱え落下物を防ぐ。また、電灯やガラス戸には近づかない。

(5) 霧

霧が発生した場合、会場内周辺で道に迷う危険がある。また、霧の中、雨具を付けずに長時間活動をすると体温が低下し危険な状態になる。

道に迷った場合は、

- ①いたずらに動き回らず、大声を出す、笛を吹くなどして、仲間と連絡を取り合う。
- ②霧の晴れ間を見て道路を探す。
- ③設置してある標識を利用し、方向を確認する。

(6) 火災防止

- ①野営地では直火・裸火は禁止する。
- ②参加者は、火気の取り扱い及び火災発生の予防に万全の注意を払う。火気を使用する場合は消火用の水を備えること。
- ③テント内での火気の使用を禁止する。テント内の照明は、安全を考慮して電池（充電電池）式器具等を使用する。
- ④喫煙については、場外の指定された場所で喫煙し、それ以外では喫煙しない。
- ⑤火災が発生した場合は、直ちに周囲に伝えるとともに応急処置（消火）に努め、本部に急報する。

(7) じん芥

- ①大会には予め不要なものは持ち込まないよう配慮し、残材やごみは最小限にする。
- ②期間中は生活環境を良好に保つために、隊長の指示に従い、じん芥を分別して指定された場所に集積する。 →P25参照

(8) 使用が許可されていない場所への立ち入り禁止

会場内には使用が認められていない場所がある。その場所には立ち入らないこと。

(9) 共同使用施設

- ①会場内の水道、シャワー場、トイレ等は、共同で利用するので、お互いに清潔に使用するよう心掛ける。
- ②サイトのAC電源（コンセント）は、1200Wまでであり、指導者の指示に従って使うこと。
- ③温水シャワーは、3分100円で使用可能。
- ④コインランドリーは、1回100円で使用可能。（洗剤は自前で）

4 キャンプライフ

Camp Life



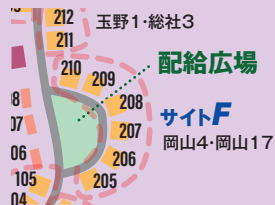
献立表 ※内容は変更になる場合があります。

第1日 8月6日(土)	夕食	ハンバーグ(レトルト)・ご飯・豚汁
第2日 8月7日(日)	朝食	ご飯、卵・海苔・即席みそ汁、卵かけ醤油
	昼食	お弁当・お菓子
	夕食	蒜山焼きそば・デザート
第3日 8月8日(月)	朝食	ミックスサンド・野菜スープ
	昼食	お弁当・お菓子
	夕食	ご飯、カレー・デザート
第4日 8月9日(火)	朝食	デリタマサンド・ヨーグルト
	昼食	お弁当・お菓子
	夕食	豚BBQ・野菜・ソーセージポトフ
第5日 8月10日(水)	朝食	ご飯、焼き魚・奴・即席みそ汁
	昼食	お弁当・お菓子
	夕食	ホルモン焼うどん・おにぎり
第6日 8月11日(木)	朝食	チキンカツサンド・ジュース

食材配給

食材は「配給広場」にて支給します。
お米は各自持参です。

- ・朝の配給(朝食用と昼食弁当) 6:00
- ・夕方の配給(夕食用) 16:00



ごみの分別

※大会には予め不要なものは持ち込まないよう配慮し、
残材やごみは最小限にする。ごみは下記のように分別し、
サイト内の「ゴミステーション」に持ち込む。



- 燃やすごみ→透明または半透明の袋に入れる**
生ごみ、貝殻、木くず、紙くず、ペットボトルのふた
- 布製品・ひも類→透明または半透明の袋に入れる**
タオルや軍手などの衣類、靴、かばん、ロープ・ひも類

c. 資源ごみ(リサイクル)

- ・リサイクルマークのある ペットボトル
- ・リサイクル表示のある 空き缶、スチール缶、アルミ缶、
- ・空きびん：無色透明、茶色、その他の色の3色に分ける
- ・ダンボール・新聞紙：ひもで十字に縛って出す
- ・紙パック：中を水洗いし、開いて、ひもで十字に縛って出す
- ・プラスチック製品：透明または半透明の袋に入れる
- ※ ペットボトル・空き缶・空きびんは、食べ残しなどを取り除くこと
- ※ 汚れのひどい空き缶・空きびんは「埋立ごみ」に出すこと

d. 燃やさないごみ→透明または半透明の袋に入れる

- ・リサイクル表示のないペットボトル、缶
- ・釘、針金などの金属類、傘

e. 埋立ごみ

- ・使い切った燃料缶やスプレー缶、異物の入った缶・ビン、汚れのひどいビン、アルミホイール、炭・灰、それぞれ品目ごとに袋に入れて出す
- ・割れた陶器類やガラスなどの危険なものは、新聞紙で包み「ガラス」等と表示
- ※ 乾電池類の有害ごみは持ち帰り、帰宅後に自治体のルールに従って処分する



トイレ

トイレは場内3か所（クラブハウス、炊事棟、サニタリー棟）
 掃除当番表に従って、みんなでキレイに使おう。
 掃除当番でなくても、汚れに気づいたらその場で自
 ら清掃しよう。



シャワー

コインシャワーは場内2か所（クラブハウス、サニタリー棟）
 3分100円
 決められた割当表に従って、みんなで快適に使おう。
 汚れに気づいたらその場で清掃しよう。



安全管理（基本原則）

- (1) **安全は全てに優先する。**自分の安全は自分で守り、また定められたルールや注意事項を守って、参加者一人一人が健康安全と事故の発生防止に努め、楽しく快適な活動を送れるよう心掛ける。
- (2) スカウトは、他のスカウトと協力して、互いの安全を確認し助け合って活動するとともに、所属隊長及び関係指導者の指示に従って行動をする。
- (3) 指導者は集散の移動及び大会期間中を通じて、常に安全指導・安全管理について万全の配慮をする。また、定められた注意事項を履行し、安全確保が習慣化するよう指導する。
- (4) 参加者が自己の不注意又は違反行為が原因で事故を起こした場合、保険金が支払われないことがあることに留意する。

1. 健康

参加者は基本日課を厳守し、食事・睡眠・排泄・更衣・清潔等の基本事項を身に着け、健康に留意した快適な生活環境の保持と時間の管理により、節度のある生活を送る。

- (1) 出発まで規則正しい生活を送り、体調を整える。
- (2) 大会前1週間の健康状態に異常がないか確認する。
- (3) 参加期間中をとおして定時に健康調査を行う。
- (4) 健康と安全の基本となる洗顔、手洗い、シャワー、着替えを遂行する。
- (5) 肌着の着替え、衣類寝具類の乾燥、テント内外の乾燥に留意する。
- (6) 活動中は常に健康保険証の原本を所持し、緊急の場合には連絡や対応ができるようにする。
- (7) 活動中に体調がおかしくなった場合は、無理をせず指導者に報告する。

2. 安全管理

(1) 周囲の状況の観察

- ①生活・活動場所をよく観察する。活動場所の地形、建物の通路の段差、ドアの開き方、人の動きなどよく観察し、対処の方法を考えておく。
- ②危険な箇所がある場合は、そのままにせず、本部に通報する。また、生活区域では整理・整頓に心掛ける。
- ③会場外での活動（場外プログラム）では、交通安全に十分に注意する。会場内でも業務や救急の車両が通る場合があるので注意する。
- ④夜間の行動時には懐中電灯を携行する。

(2) 正しい用具の使用

- ①設営時の用具の使用は、平素の訓練の成果を示す良い機会であることを念頭において行う。
- ②ナイフ、ナタ等の刃物の扱い方の安全管理を徹底し、刃物による傷を負わないように特に注意する。ケガは楽しい活動の妨げになることを理解する。特に、刃物の携行については必要な時だけの携行とする。

(3) 食中毒予防の三原則

食中毒の大部分は細菌によるもので、食中毒を防ぐには、次の三つのことに注意する。

- ①清潔の原則（食中毒菌をつけない）
- ②温度の原則（食中毒菌を殺す）
- ③迅速の原則（食中毒菌を増やさない）

この三原則とともに「食品の保持」から「残った食品」までについて、食中毒を予防するための4つのポイントを守ること。

①食べ物と保存するとき

腐敗や変質を防止するために、保管場所にフライ等を設置して直射日光や雨が当たらない様に配慮する。

②食事をするとき

- (ア) 食卓につく前に手を洗う。
- (イ) 清潔な手で、清潔な箸等を使い、食事をする。
- (ウ) 少しでも怪しいと思ったら、口に入れず捨てる。

食材が変質したり、味が変わっていたりした場合には、直ちに食事を中止して隊長の判断を仰ぐ

③食べ物が残ったとき

残った食品は、できる限り廃却する。

④持参したコップ等は使用したら洗い、清潔に保管する。

(4) 食物アレルギーへの対応

食物アレルギーとは、特定の食べ物に含まれる「アレルゲン（アレルギーの原因となる物質）」に「免疫」機能が過剰に反応してしまい、体にさまざまな症状をおこすものである。症状は様々だが、中には死に至る場合もあることから、食品に含まれるアレルギー物質に関して、正確な情報が必要となる。

キャンプ生活では、集団で生活を行うことから、アレルギーのある人だけでなく、一緒に生活をする仲間もアレルギーについて理解し、行動することが大切である。

食品のアレルギーについては、日本の「食品衛生法」で表示が義務付けられているアレルゲン特定原材料（アレルギーの原因となる可能性が有る食材）の以下の7品目を記載する。

7大アレルゲン特定材料

小麦、卵、乳、エビ、カニ、そば、落花生

また表示が推奨されているその他のアレルゲン原材料の20品目については以下のとおり。

その他のアレルゲン原材料

いくら、キウイフルーツ、くるみ、大豆、カシューナッツ、バナナ、やまいも、もも、リンゴ、さば、ごま、さけ、いか、鶏肉、ゼラチン、豚肉、オレンジ、牛肉、あわび、まつたけ

(5) 有害（毒）動植物等の被害防止

今大会の会場（場外）で想定される有害（毒）動植物による危険は、敷地内外の森や藪で、毒蛇に噛まれる、ハチに刺される、ウルシに触れかぶれる等がある。その回避・対処方法としては、

①肌の露出面をできる限り少なくするために、長袖、長ズボンで活動する。

特にハチは黒い物や動く物を攻撃の目標にする習性があるので注意する。

②二次災害を避けるため、救助者の安全確保を必ず確認する。

③ハチに刺された場合、以前ハチに刺された経験があるかどうかを確認し、ショック症状がみられる場合は直ちに本部に連絡する。

④蛇類にかまれた場合は、毒の拡がりを避けるために、安静の保持と局所を清潔に保つように心がけ、傷より心臓に近い部分を縛り、毒が全身に回らないようにする。毒を口で吸い取ったりせず、直ちに本部に連絡する。

⑤有害動物（サル、クマ、イノシシ、野犬、ハチ等）に出会ったときは、急に逃げ出したり、威嚇等の刺激をあてたりせず、遠ざかる。また、有害動物を発見した場合は直ちに本部に連絡をする。

ジャンボリー等の過去の治療件数によると、ブヨ、蚊、ハチ等による被害が多く見られる。

状況に適した長袖、長ズボン等の服装と初期治療（石鹼水と流水で皮膚を十分に洗浄し、冷湿布を施す）によって被害の防止と症状の緩和に心掛ける。あらゆる害虫を想定し、対策を講じる。

新型コロナウイルス対策

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること。（マスクを着用することによって熱中症などのリスクが高まってしまうような場合を除きマスクを着用）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に最低1m）を確保すること。

新型コロナウイルス対策

- キャンプ中に大きな声で会話等をしないこと。
- 感染防止のために大会本部が決めたその他の措置を遵守し、大会本部の指示に従うこと。
- 大会参加終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること。
- 大会前後での懇親会の開催を控えること。

参加者が活動を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - ・活動の種類に関わらず、活動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。
 - ・強度が高い活動の場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること。
 - ・水遊び時などマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意すること。
- 活動中に、唾や痰を吐くことは極力行わないこと。やむを得ない場合は、周囲を確認し飛沫の飛散に注意すること。
- タオルの共用はしないこと。
- 飲食については指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を空けて対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底すること。
- 食事時に同じトング等で大皿に取り分けたり、回し飲みしたりしないこと。

5 プログラム Program



全体プログラム

開会式

8月6日 19:30～20:30 中央広場

準備アイテム

制服・制帽 班旗 隊旗 ライト 椅子 飲物

信仰奨励

8月7日 9:00～10:00

準備アイテム

制服・制帽 班旗 椅子 飲物

会場

- ・仏教（配給広場）・キリスト教（ファイヤー広場）
- ・金光教（パノラマ広場）・世界救世教（炊事棟）



全体プログラム

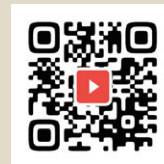
ジャンボリー大集会

8月7日 14:00～16:00 中央広場

YOUTUBEライブ配信

www.youtube.com/scoutokayama/

家族の人にこのアドレスを伝えて、当日の実況中継を見てもらおう。



準備アイテム

涼しい服装 班旗 椅子 飲物

ゲスト出演

- ・西大寺会陽太鼓・備前の風・パンツゴンザレス哲朗

大営火

8月10日 19:30～21:30 ファイヤー広場

準備アイテム

ライト 椅子 飲物

プログラム

- ・表彰式・各エリアスタンツ

閉会式

8月11日 8:30～9:00 中央広場

準備アイテム

制服・制帽 班旗 隊旗 椅子

場内プログラム

ジャンボリー日本一プログラム



① わが旗かざし「班旗立て」

場所：パノラマ広場

- 8日 午前の部（9:30 受付～ 11:00）
 午後の部（13:30 受付～ 15:00）

- 9日 午前の部（9:30 受付～ 11:00）
 午後の部①（13:30 受付～15:00）
 午後の部②（15:00 受付～16:00）ベンチャー

班（5～8人）対抗のタイムトライアル

- ・用意された材料で、班旗を作成・自立させ、かつ、より高く（3m以上）立てる
- ・完成「宣言（できました!）」から 15 秒間自立（手を離れた状態）して、競技終了。

準備アイテム

- 班旗 ハンマー 1 個 ペグ 3 本

※記録が出たら、スマホの 18NSJ アプリに登録しよう!



場内プログラム

ジャンボリー日本一プログラム

② 火を絶やすな「火おこし」

場所：イベント広場（サイト 321）

- 8日 午前の部（9:30 受付～ 11:00）
 午後の部（13:30 受付～ 15:00）

- 9日 午前の部（9:30 受付～ 11:00）
 午後の部（13:30 受付～15:00）ベンチャー

10日 午前の部（9:30 受付～ 11:00）

班（5～8人）対抗のタイムトライアル

- ・用意された材料でかまどを作り、持参した薪等をセットして火をつけ、麻なわを焼き切る。
- ・競技中に「ナタ等刃物で薪等を切る・割る」はできません。
- ・マッチ 2 本以内で火をつけ、火を育て、上部に張った麻なわを焼き切ります。うちわや火吹き筒等を使って空気を送ることはできません。

準備アイテム

- 軍手（革手） 薪等（土嚢袋（62cm × 48cm）に入るだけ 1 袋）
 焚き付け（ジップロック（27.9cm × 26.8cm）に入るだけ 1 袋）※いずれも袋からはみ出さない
 消火に必要な道具

※記録が出たら、スマホの 18NSJ アプリに登録しよう!



場内プログラム

ジャンボリー日本一プログラム

③ ジョン・ブラン「手旗信号リレー」

集合場所:パノラマ広場

9日 午後の部 (13:30受付～15:00)

10日 午前の部 (9:30受付～11:00)

午後の部 (13:30受付～15:00)

班 (5～8人) 対抗のタイムトライアル

・ 伝文 (問題文) を手旗信号により発信スカウト@から (2箇所の中継⑥⑦を経て)、ゴール@のスカウトに送り届け、それに解答する競技です。早く・正確にかつ確実に送受信し、かつ正確に回答するまでの時間を競います。



準備アイテム

手旗 (4組) 筆記用具

※記録が出たら、スマホの18NSJアプリに登録しよう!

場内プログラム

キャンプクラフトコンテスト

自隊のサイトで、入口ゲートや立ちかまど、調理台、食卓など、野外工作物の技術とアイデアを競う。審査員がチェックして優秀班を決める。

審査日: 8月8日～10日 (抜き打ち審査)

参加単位: 班

場内プログラム (ベンチャー)

パイオニアリング章

7日夜、8日午前・午後、9日午前・午後

集合場所: イベント広場 (サイト313・314)

夜の部 (7日のみ)

19:30 集合

21:30 解散

午前の部

8:30 集合

12:00 解散

午後の部

13:30 集合

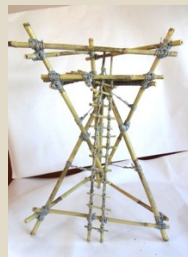
16:00 解散

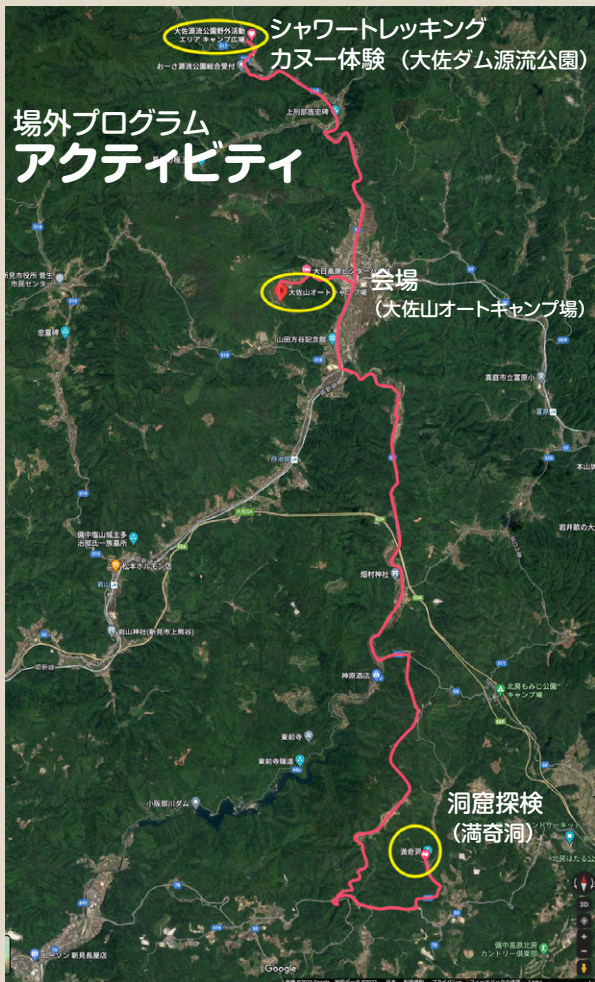


準備アイテム

汚れても良い服装

タオル 軍手 ヘルメット 手旗 水筒





場外プログラム (アクティビティ)

シャワートレッキング (大佐ダム源流公園)

8月 8日 9日 10日

午前の部

8:30 集合 (中央広場)

9:00 出発

11:00 ~ 13:00 (大佐ダム源流公園でシャワートレッキング)

14:00 現地出発

14:30 サイト帰着

午後の部

11:30 集合 (中央広場)

12:00 出発

14:00 ~ 16:00 (大佐ダム源流公園でシャワートレッキング)

16:40 現地出発

17:00 サイト帰着

※昼食は弁当持参で適宜

準備アイテム

弁当 (午前の部のみ)

濡れても良い服装 (長袖長ズボン)

着替え (下着も)

タオル 水筒



場外プログラム (アクティビティ)

カヌー体験 (大佐ダム源流公園)

8月 8日 9日 10日

午前の部

8:30 集合 (中央広場)

9:00 出発

11:00 ~ 13:00 (大佐ダム源流公園でカヌー体験)

14:00 現地出発

14:30 サイト帰着

午後の部

11:30 集合 (中央広場)

12:00 出発

14:00 ~ 16:00 (大佐ダム源流公園でカヌー体験)

16:40 現地出発

17:00 サイト帰着

※昼食は弁当持参で適宜

準備アイテム

弁当 (午前の部のみ)

サンダル

濡れても良い服装

着替え (下着も)

タオル 水筒



場外プログラム (アクティビティ)

洞窟探検 (満奇洞)

8月 8日 9日 10日

午前の部

8:30 集合 (中央広場)

9:00 出発

10:00 ~ 12:30 (満奇洞で洞窟探検)

13:00 現地出発

14:30 サイト帰着

午後の部

11:30 集合 (中央広場)

12:00 出発

13:00 ~ 15:30 (満奇洞で洞窟探検)

15:40 現地出発

17:00 サイト帰着

※昼食は弁当持参で適宜

準備アイテム

弁当 (午前の部のみ)

濡れても良い服装

靴下必須 着替え

タオル 水筒



緊急連絡(相談)先

事故・ケガ・体調不良 **070-1876-0529** (岡谷)

トラブル・相談 **090-1687-2593** (横山)

救護所 大型ロッジ

AED あります!

救護所の仕事：

- 簡易救護所(医療関係者不在)なので、病人の対応、病
気・ケガの処置はできません。
- 発熱以外(コロナの疑いが無い)の軽症者は、一時救護
できます。
- 救急搬送が必要な場合、病院への連絡、救急車の手配
をします。(搬送時の付添は隊指導者)
- 体調不良等により病院へ行く場合、及び保護者の迎え
が必要となった場合、救護所へ報告してください。



急患対応病院

渡辺病院 **0867-72-2123**

〒718-0003 岡山県新見市高尾2278-1



緊急時用個人情報

※緊急時に必要となるので、事前に必ず記入しておくこと。

氏名						性別	
生年月日	平成	年	月	日	(満	歳)	
住所	〒						
緊急連絡先	① TEL	-	-	続柄	()	
	② TEL	-	-	続柄	()	
	③ TEL	-	-	続柄	()	
アレルギー							
かかりつけ病院							
服薬	あり・なし					平熱	℃
特記事項							

活動中の心の健康について

下記の5つのことを心がけよう




1. 自分自身を大切に思うこと
2. 物事を前向きに考えること
3. 自分なりの目標に向かって努力すること
4. 様々なトラブル、心配事に、くよくよしないこと
5. 指導者・スカウト仲間と、何でも話し合える関係を築くこと



活動に伴う事故の予防

1. 熱中症

1) こんな症状が出現します。

熱中症の主な症状		
重症度Ⅰ度	重症度Ⅱ度	重症度Ⅲ度
		
手足がしびれる めまい、立ちくらみがある 筋肉のこむら返りがある(痛い) 気分が悪い、ボーっとする	頭がががする(頭痛) 吐き気がする・吐く カラダがだるい(倦怠感) 意識が何となくおかしい	意識がない ひきつけを起こす(けいれん) 呼びかけに対し返事がおかしい 真直ぐに歩けない・走れない カラダが熱い

2) 予防と対策

- (1) 活動前に体調がすぐれない時は指導者に報告する
- (2) 休憩・水分の補給
日陰で小休止、大量に汗をかいたら塩分の補給も忘れずに!
- (3) 服装
活動中は必ず帽子をかぶる。暑くてもTシャツなどは着る。
マスクは距離を2メートル程度取ってはすず。
- (4) 日ごろから汗をかく習慣をつけておく。

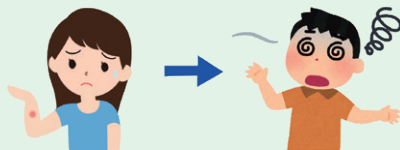


2. 虫刺され



野外には様々な虫がいます。

1) 症状：軽いものから意識障害を起こすものまでいろいろです。



2) 予防と対策

- (1) 肌の露出部分を少なくする。(長袖、長ズボンの着用)
- (2) 虫よけスプレーの使用。
- (3) テントの出入りの際はきちんとテントを閉める。靴はテントの外に放置しない。靴を履くときは靴の中を確認する。
- (4) 衣服やタオルを不用意に地面や草の上に置かない。むやみに、草の上に座ったり寝転んだりしない。
- (5) むやみに虫に近づかず、刺激するような行動はしない。
- (6) すぐに指導者に報告する。

3. 咬傷 (ヘビ)

1) 予防と対策

- ① 足元やふくらはぎを守る服装、装備をする。
- ② 咬まれた部位を心臓より低い位置に保ち、指導者に報告する。
※ヘビには毒を有する場合がありますため十分に注意する。



4. けが

1) すり傷

- (1) 水道水等の流水で汚れをよく洗い流す。
(異物を完全に取る)
- (2) 傷口に清潔なガーゼをあてテープで止める。※綿やティッシュペーパーは使用しない
- (3) 翌日になってもひどく痛みがあったり、腫れる場合は指導者に相談する。



2) 切り傷

- (1) 傷口を水道水等の流水で汚れをよく洗い流す。
- (2) 消毒をし、傷口を抑え止血をし、出血が弱まればバンドエイドなどで傷を寄せないようにして止めておく。
※止血できなければ指導者に相談し、医療機関を受診する。
- (3) 傷が深いと判断したら、すぐに指導者に報告し指示を仰ぐ。



3) 刺し傷

- 《トゲ》
- (1) 手を洗い、毛抜きで抜く。この時トゲがおれないように注意し、残っていないか確認し血液を絞り出す。念のため消毒をする。抜きにくい時は5円玉の穴を押し当てるようにすると抜きやすい。

《古クギ》

- (1) すぐに指導者に相談し、医療機関を受診する。
古クギの刺し傷は、細菌が侵入しやすいため注意を要する。

《刃物、ガラス、金属片》

- (1) 刺さっているものを無理に引き抜かず、すぐに指導者に報告する。

《眼の異物》

- (1) 絶対にこすらない。水道水等の流水で洗い流すか、清潔な洗面器に清潔な水を満たし、その中でまばたきをする。
- (2) 取れない場合は医療機関を受診する。



4) 鼻出血

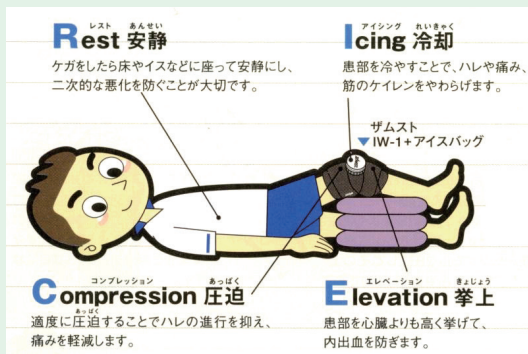
- (1) 涼しいところで前かがみになり、小鼻をしっかりとかみ押さえ、のどに流れてくる血液は吐き出す。
- (2) ガーゼやハンカチを筒状にして鼻に詰め、小鼻を圧迫する。脱脂綿やティッシュは使用しない。



5) 打撲・捻挫

- (1) **R**: 患部と全身の**安静**を保つ。
- (2) **I**: アイシングで患部やその周囲を**冷**やす。
- (3) **C**: **圧迫**で内出血や腫れを防ぐ。
- (4) **E**: 腫れがひくように、患部を**心臓より高い位置**にする。

RICE



※関節が動かす腫れや痛みがひどい場合は指導者に相談の上、医療機関を受診する。

6) 熱傷 (やけど)

- (1) 衣服の上から流水ですぐに冷やす。(保冷剤を使用する場合はタオルやガーゼで保護し、冷やしすぎないようにする)
- (2) 水疱ができてもつぶさない。
- (3) 指導者に相談し、やけどの程度によって医療機関を受診する。

やけど

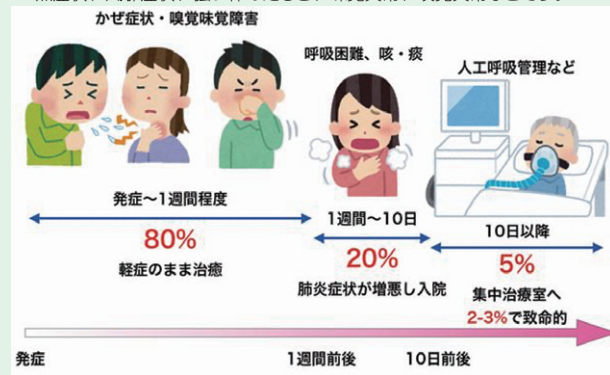
- 1 できるだけ早く、水道水などの清潔な流水で十分に冷やす。
- 2 傷にいきおいよく当てないようにする。
- 3 衣服が皮膚にくっついているようなときは、無理にはがさないでそのまま冷やす。
- 4 冷やしたあとは、清潔なガーゼなどでおおう。薬を塗るのは禁物です。やけどがひどいときは急いで病院へ。

5. 新型コロナ対策

- 1) 感染防止の3原則
 - (1) 身体的距離の確保
 - (2) マスクの着用
 - (3) 手洗いと消毒



- 2) 新型コロナウイルス感染時の症状と成り行き
無症状、風邪症状、強い体のだるさ、味覚異常、嗅覚異常などです。



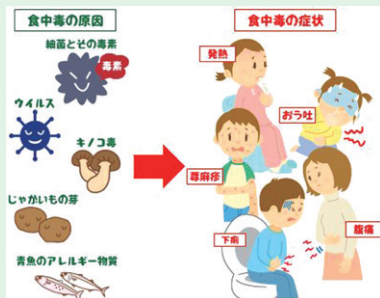
- 3) 各自が取り組むこと
 - (1) 人との距離はできるだけ2mあける。
 - (2) マスク着用、咳エチケット
 - (3) こまめに手洗いを30秒かけて行い、手指消毒を行う。手洗い後は自分の口や鼻を触らない。
 - (4) 毎日の健康チェック。異常があれば指導者に報告する。
 - (5) 集団感染が起きないように、密にならないよう心がける。

6. 食中毒

1. 食中毒予防の3原則

- (1) 清潔の原則（食中毒菌をつけない）
- (2) 温度の原則（食中毒菌を殺す）
- (3) 迅速の原則（食中毒菌を増やさない）

2. 食中毒の症状



3. 予防の4つのポイント

(1) 食べ物の保存

直射日光や雨が当たらないようにする（腐敗や変質防止）

(2) 食事をするとき

- ① 食卓につく前に手を洗う
- ② 清潔な手で、清潔な箸等を使い食事をする
- ③ 臭いや味が少しでもおかしいと思ったら食事を中止し指導者の判断を仰ぐ

(3) 食べ物が残ったとき

残った食品は廃棄する

(4) 持参したコップ等は使用後は洗い、清潔に保管する

4. 食物アレルギーへの対応

あらかじめアレルギー症状を起こす原因を連絡しておくこと。



7 友だちノート Friends Note



新しい友だち

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

新しい友だち

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

新しい友だち

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

名前

所属

住所

連絡先

MEMO

18th NIPPON SCOUT JAMBOREE ALL OVER JAPAN

www.scout-ok.jp/18NSJ



サイト	A	B	C	D	E	F	G	H
名前								
所属	連盟			第			団	

日本ボーイスカウト岡山連盟 office@okayama.scout.jp
日本ボーイスカウト鳥取連盟 office@tottori.scout.jp